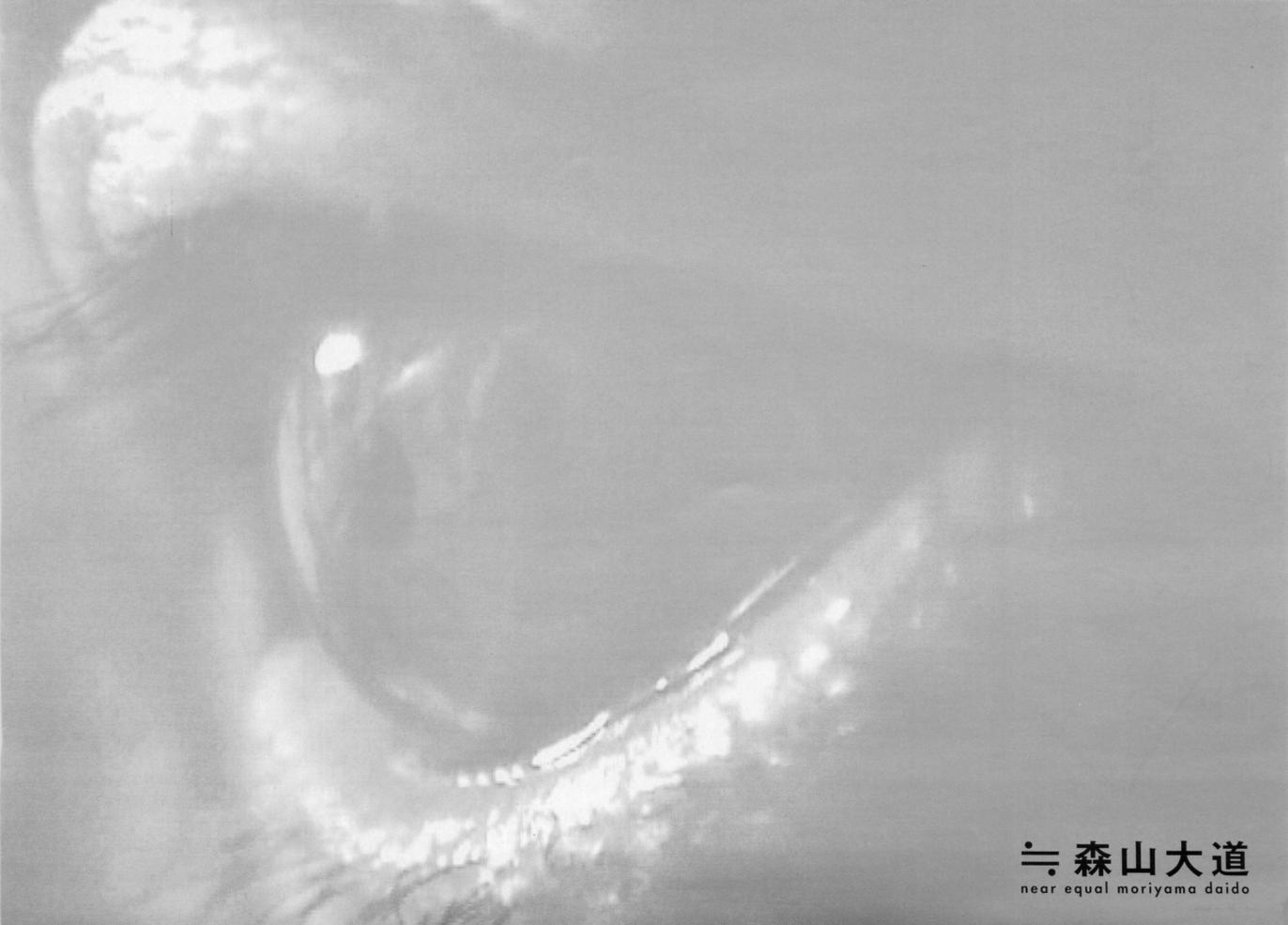


© DAIDO MORIYAMA



≡ 森山大道  
near equal moriyama daido

# ≡ 森山大道

near equal moriyama daido

http://www.bbb-inc.co.jp/daido/

# プロフェッショナリズムとアマチュアリズムの融合!

生真面目で不真面目な孤高の写真家に迫るDVDキュメンタリー

デジタルビデオ/カラー/84分/2001年/製作・配給:ピー・ビー・ビー株式会社

## 解説

天才アラーキーこと荒木経惟をして「新しい写真の時代を作り出した男」と言わしめる写真家・森山大道。60年代後半より常にカリスマ的存在として写真界に君臨しながらも、マスコミへの表立った登場を拒み続けていたため、その人物像はどこか謎のヴェールに包まれている。本作品『≡(ニア・イコール) 森山大道』は、今まで公にされることのない彼の現在を、デジタルビデオで追った珠玉のドキュメンタリーである。

森山大道の写真に対する基本的な姿勢の中に、表現性との訣別、そしてアマチュアリズムの肯定というものがあるが、これにそのまま倣うかのように、本作品に用いられたビデオカメラはハンディカム(SONY-VX-2000)一台のみ。更にスタッフも原則的に一名、その上なんと構成案も一切なしと、徹底的にアマチュアライクかつフォトドキュメンタリ的なスタイルで行われたという撮影は、氏が活動拠点にしている新宿をメイン舞台に、2000年秋から5ヶ月に及んだ。ハンディカムならではの、いい意味で肩の力の抜けた撮影スタイルは、新しい映像制作のカタチを提示する。

約20ものトピックスからなる本作品は、伝説の高速スナップ&ノーファインダー撮影をはじめ、本人以外は立ち入り禁止の暗室作業など、滅多に見ることのできない貴重な映像が断片として紡がれており、見る者を惹きつけて止まない。また、古くからの友人である荒木経惟、批評家・西井一夫らがフランクに語るその素顔や様々なエピソードが、彼のこれまでの作品群と共に紹介され、彼の創造の根元的精神へと見る者を誘う...

森山大道が被写体にとどまらず、初めてのデジタルカメラでの撮影に挑戦するなど、「アナログとデジタルの相対化」も本作品のポイント。

一見するとクールで近寄り難そうなイメージの森山大道だが、作品が進行するにつれ、そのイメージは完全に裏切られる。彼の生真面目さと不真面目さが微妙なバランスで背中合わせする生き様に、ファンのみならず新世紀日本を生きる誰もが、嫉妬せずにはられないはず。かっこよすぎます、森山大道!

## ●出演

森山大道 / 荒木経惟 / 西井一夫 / 笠原美智子 / サンドラ・フィリップス (サンフランシスコ近代美術館) / 猪瀬光 他

## ●スタッフ

企画/取材/撮影/編集... 藤井謙二郎  
製作総指揮... 榎本 寛治  
製作... 河合 伴明  
オンライン編集... 馬場 秀夫  
MA... 清水 和法  
タイトル... 芦野麻友美

## ●協力

東京都写真美術館 / (株)ニコン / パレットクラブ / プレISM / MOLE / メディア・デザイン研究所 / (株)中央公論新社 / ワイズ出版 / (株)記録映画社 / (株)シネバザール / (有)キップ / ルージュ / サーヤ / 久沼 / どんく

## ●協賛

(株)エー・ビー・シー書店 / HYSTERIC GLAMOUR / (有)マトリクス

## ●挿入曲

『不真面目にいこう』(東芝EMI)  
by 忌野清志郎 リトル・スクリーミング・レビュー

## 森山 大道

この映画は、小さなカメラを片手に街々をほっつき歩く、1人のフーテンおやじのアイヤシクもアブナイ生活日記である。いったい、何処へ行こうとしているものか、自分でもよく分かっていない、一匹のノラ犬おやじの日常の足あとなのだ。

■暗室のバットの上で、ひらひらと動く指。カメラをすっと持ち上げて、シャッターを切るまでの滑らかな軌跡。それらのディテールの集積を、眼で味わう歓び、...。  
————— 飯沢耕太郎 (写真評論家)

■森山大道という病(ヤマイ)を生きる男をうらやましく直視せよ!  
————— ホンマタカシ (写真家)

■男臭い生き方におぼちゃんのような目  
写真愛の底無し沼にはまった自分をクールに凝視している写真家の生き様は荘厳な美しさ。  
————— 長島有里枝 (写真家)

◎森山大道オフィシャルサイト <http://www.moriyamadaido.com>



≡ (ニア・イコール)  
「近似値」「ないない同じ」ということを表す。  
映像に記録できることは、真実すべてなどといった大仰なことではなく、あくまで物事の表層的なものに過ぎず、同時にまた、ドキュメンタリーといえども結局は作り物に過ぎないという根本的な姿勢を表している。

【追悼・西井一夫(元・カメラ毎日編集長)】伝説のカリスマ写真家・森山大道。東京で大ロングラン上映となった話題作!!  
**2/2(土)よりモーニング&レイトショー!**(1日1回上映)  
**2/2(土)~8(金) モーニングショー AM11:00 (終12:24)**  
**2/9(土)~15(金) レイトショー PM9:00 (終10:24)**  
特別鑑賞券 **1400円**  
■当日/一般1700円、学生1400円、高・中・小・シニア1000円  
“カメラ”割引き! カメラご持参の方、当日**1300円**

シネ・ヌーヴォ  
TEL.06-6582-1416  
シネ・ヌーヴォのホームページアドレス  
<http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/>

